

武蔵野



武蔵野支局 〒180-0006
 武蔵野市中町1の13の1 3F
 電話 0422(51)3131
 FAX 0422(51)3133
 musasino@yomiuri.com
 都内版編集室
 電話03(3217)1465・1466
 江東支局 電話03(3631)6116
 立川支局 電話042(523)4477
 ホームページ
 www.yomiuri.co.jp/local/

購読は
0120-4343-81

【広告】読売Palette 03(6272)9027
 【折込チラシ】 0120-03-4343
 【読売旅行】 03(5550)0666

2月16日(水曜日)
 旧 1月16日<仏滅>
 通日 47
 月齢 14.9
 (正午)
 日出 6.27
 日入 17.23
 月出 16.51
 月入 6.24
 満潮 5.37
 干潮 11.13
 23.29
 (大潮)

あすの暦

坂口安吾(1906-55年)は、武蔵野の文人です。新潟生まれの安吾は、いわゆる正義感の強い方キ大将でした。軍隊式の学校教育に馴染まず、学校をサボり留年し、卑怯な教師に抗うなどの問題を起した安吾は、新淵中学を3年で退学。1922年9月には、父親や長兄夫婦らとともに豊多摩郡戸塚町(現新宿区)の借家に引っ越し、護国寺境内にあった豊山中学に転

文人の武蔵野

文学的出発の地

坂口安吾 ①



安吾は語学学校「アテネ・フランセ」でフランス語を学んでいた(千代田区で)

校します。「全国のヨタ者共の集る中学」(安吾)は、肌合ったのでしよう。読書に耽り、小説、宗教、哲学を学び、走り高跳びの中学全国大会で優勝し、友人にも恵まれて卒業します。豊山中学の2年半の間には、関東大震災(23年)に遭い、衆議院議員だった父を亡くしました。戸塚も護国寺も当時は原っぱのある武蔵野でした。生まれ故郷を離れた安吾は、武蔵野で学び、自立し、学問芸術の道を目指します。31年1月、東京・お茶の水の語学学校「アテネ・フランセ」に通う仲間と創刊した同人誌「言葉」の2号に、デビュー作「木枯の酒倉から」を発表。「聖なる酔っ払い」は神々の魔手に誘惑された話という長い副題が付いている短編で、「武蔵野」の語が日か所確認されます。作中で「聖なる酔っ払い」が禁酒できないのは「木枯の武蔵野」のせいでした。安吾の武蔵野という主題を初めて明らかにした武蔵野大助教の山路敦史さんは、「(武蔵野)をある人物の仮

校します。

「全国のヨタ者共の集る中学」(安吾)は、肌合ったのでしよう。読書に耽り、小説、宗教、哲学を学び、走り高跳びの中学全国大会で優勝し、友人にも恵まれて卒業します。豊山中学の2年半の間には、関東大震災(23年)に

遭い、衆議院議員だった父を亡くしました。戸塚も護国寺も当時は原っぱのある武蔵野でした。生まれ故郷を離れた安吾は、武蔵野で学び、自立し、学問芸術の道を目指します。31年1月、東京・お茶の水の語学学校「アテネ・フランセ」に通う仲間と創刊した同人誌「言葉」の2号に、デビュー作「木枯の酒倉から」を

発表。「聖なる酔っ払い」は神々の魔手に誘惑された話という長い副題が付いている短編で、「武蔵野」の語が日か所確認されます。作中で「聖なる酔っ払い」が禁酒できないのは「木枯の武蔵野」のせいでした。

安吾の武蔵野という主題を初めて明らかにした武蔵野大助教の山路敦史さんは、「(武蔵野)をある人物の仮

想世界として提示している点で「木枯の酒倉から」は、国木田独歩の「武蔵野」の後継作品であると指摘しています。

安吾にとっての武蔵野は、文学的出発点でした。(武蔵野大教授、むさし野文学館館長・土屋忍)

「木枯の酒倉から・風博士」(坂口安吾)

安吾の初期の秀作が収録された短篇集です。デビュー作「木枯の酒倉から」は、武蔵野を舞台にして語り手の「僕」が「狂人」に出会う「発端」部と、「狂人」から聞いた話を「僕」が叙述する「狂人の独白」部との2部構成に分かれている小説です。言葉を信じ、言葉を疑う安吾文学の可能性が詰まっています。

おすすめの1冊



坂口安吾

(講談社文芸文庫)